

## 東日本大震災緊急支援

国際子ども支援 NGO セーブ・ザ・チルドレンは、3月14日に仙台に入り、東日本大震災で被災した子どもや家族が日常性を回復できるよう、緊急支援を実施しています。

### ■これまでの主な活動■

#### 【子どもの保護】

##### ・「こどもひろば」の実施

避難所などに設置する安心・安全な空間。子どもたちが同年代と交流し、遊びを通じて自分を表現することで、子どもらしくいられる時間を取り戻す。宮城県・岩手県に19ヶ所に設置し、子ども807名が参加。

##### ・学童など子ども関連施設の支援

施設備品の提供および施設の増設、施設職員に対する研修・ネットワークづくり等をサポートする。宮城県・岩手県6地域にて実施。

##### ・親子向けイベントの実施

地域との連携にもとづき、子どもたちが楽しめる参加型イベントを実施。2011年4月29日～5月5日に4tトラックで被災した地域を巡回し、子ども向け劇を宮城県・岩手県6地域にて実施し、親子を中心とする約1100名参加。

#### 【教育】

##### ・学用品の配布

学校再開に伴い、被災した子どもたちが学校生活をスタートできるよう、ランドセルと文具セット約2600個を配布。さらに、体操着、ピアノカなどを子どもに配布すると同時に、必要備品を学校に配布。宮城県・岩手県計8地域にて実施。

##### ・給食支援

給食設備が復旧していない地域の幼稚園、小中学校での補助食の提供。宮城県・岩手県2地域にて実施。

### ■今後の主な活動■

#### 【子ども参加による地域の復興 ～子どもたちの参加でより良いまちに！～】

上記の活動を通じて、子どもたちの日常性を回復すると同時に、2003年より行政や学校、子ども支援団体と連携して、実施してきた日本の子ども参加促進事業の知見と経験を生かし、被災した子どもたち自身が社会に参加することで、地域のよりよい復興、まちづくりをめざす。

##### ・子どもたちの声調査

被災した子どもたち自身が、復興計画に対する意見を表明し、調査結果をレポートとしてまとめ、社会に発信。第一回アンケート調査を宮城県・岩手県6地域にて現在実施中。

##### ・子どもまちづくりクラブ

被災した子どもたち自身が、地域の復興に向けたまちづくりを考え、定期的に活動を実施。宮城県・岩手県2地域にて、スタッフ研修を実施し、参加者を募集中。

##### ・東北子ども会議

宮城県・岩手県の被災した子どもたちが集まり、地域の復興に向けて討議し、提言を実施。第一回開催は2011年11月20日（世界子どもの日）。

#### お問い合わせ先

公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン TEL: 022-263-4561  
(仙台事務所) 宮城県仙台市青葉区大町1-3-7 横山ビル2F  
(遠野事務所) 岩手県遠野市上郷町平野原1-3